

21世紀に向けて、新たなビジョン、 行動指針を制定

私どもは今春、二一世紀におけるニコン・グループの更なる発展のため、新たな長期ビジョンとして『ビジョンNikon21』を策定した。背景には、九〇年代を通して顕著となった社会、経済、環境に関わる世界的なパラダイムの転換があったことを付言しておきたい。

私どものビジョンは、企業理念として「信頼と創造」を据え、その具体化のために五つの企業目標を定めている。詳細を述べる紙幅がないが（当社ホームページ<http://www.nikon.co.jp>参照）、これらを実現するため、さらにグループの社員一人ひとりが実践すべき行動の規範として、次の四つの「行動指針」を定めた。

①お客様（買い手）を主体として、売り手、作り手が常に意思を通い合わせ、三者が一体となったマーケティングを展開する

私どもの思い込みによる商品・サービス開発を戒め、誰よりもお客様を第一としながら、販売者と生産者が加わって積極的に意思疎通を行なうことで、お客様に真に有用な、新しい価値を創造すべきことを謳った。

②どのようなときも「環境」「安全」「企業倫理」と

いう三つの社会規範を優先する

これは、「企業市民」としての姿勢にかかわるが、これら社会規範については別途、細目も定めている。その細目も含めると、『経団連企業行動憲章』と共通する点が多い。

③チャレンジ（挑戦）、イノベーション（革新）、スピード（俊敏さ）の三つを基本姿勢として行動する
歴史の長い企業はとかく保守的で、変化に対して遅鈍になりやすい。もとより大切にすべき伝統もあるが、企業が常に若々しく、かつ成長力を保つためには、欠くべからざる姿勢と考えるものである。

④柔軟な発想と活発な情報交換を通じて、活動の方向・考え方を合わせ、強力なチームワークを発揮する

社員一人ひとりの力量もさることながら、創造力の発露は社員間の相互作用でより確かなものとなり、大きな成果に結実する。チームワークを大切に、ベクトルを合わせることを強調したものである。

私どもは、これら行動指針を着実に実行し、新世紀においても、お客様の「信頼」を得たいと願っている。
(ニコン 経営企画部)